

# 広報 しばた



## 伝統を守り、踊り継がれる大黒舞

30年以上続く、「祇園入社中」の大黒舞。現在は5人で活動しています。これまで還暦や長寿のお祝い、結婚式、イベントなどで、大黒舞を披露してきました。手作りの衣装に身を包み、黄金色の小づちと扇子を手に、来年も大黒舞で皆さんに福を呼び込みます。



特集



# 全国フットパスの集い2018

in柴田

地域に昔からある  
ありのままの風景や自然を  
楽しみながら歩くフットパス。

その全国大会が  
11月3日(土)、4日(日)の2日間、  
柴田町で開催されました。



問 まちづくり政策課 ☎54-2111

フットパスを通じて  
柴田町の魅力を全国へ発信

全国大会では、フットパスのほか、フォーラムや交流会が行われました。

フットパスには、北海道から九州まで全国各地のフットパス愛好者など、2日間で延べ241人が参加しました。

坂道が多いコースや平坦なコース、まちなかや里山・田園地帯を巡るコースなど柴田町の魅力を感じてもらえる7つのコースが準備され、参加者は、それぞれのコースで柴田町の風景や自然、歴史を歩きながら、見て、感じて、学んで、柴田町を満喫していました。

コースの途中に設けられた休憩所や食事所では、各地域の皆さんが、柴田町の特産である柚子を使ったゆづ湯や地域の郷土料理を振る舞うなど、それぞれが工夫を凝らしたおもてなしで、参加者を歓迎していました。

今回の「全国フットパスの集い2018in柴田」の運営に大きく関わった柴田町地域おこし協力隊の北浦さん、休憩所で参加者の皆さんにおもてなしを行った第3区行政区長の渡邊さん、秋田県由利本荘市から参加した由利本荘フットパス協会会長の三浦さんの3名に話を伺いました。

柴田町地域おこし協力隊

北浦 鑑久さん



— 全国フットパスの集いを終えて

当日の運営で至らないところもありましたが、全国から参加された皆さんには、柴田町の魅力を余すことなく楽しんでもらえたと思います。また、参加者が町内の飲食店で交流を深める、夜のフットパスはお店の方の協力もあり、料理がおいしかったと大好評でした。2日間とも天候にも恵まれて、大成功だったと思っています。

— 全国フットパスの集いを開催するに当たって大変だったことは

当日に歩くコースはすんなり決まりましたが、どこを重点的に見てもらうかで、フットパスサポーターの方々、それぞれの思い入れがあり、調整するのが大変でした。また、人手不足で、全体の流れを把握している人が数人しかないということも運営する上で大変でした。でも、大きなトラブルもなく無事に終わって今はホッとしています。

— これからの柴田町のフットパスに期待することは

柴田町には、興味深い歴史や文化と歩くのに魅力的な地形がそろっていて、フットパスにはいい風土です。

また、自主性が高く、自分たちで盛り上げようとかんばっているフットパスサポーターの会の皆さんと行政との官民の連携がうまく取れていると思います。

全国大会も開かれるようになった柴田町は、フットパスの先進地ですので、これからはフットパスを楽しむ方の受け入れ体制を整備する必要があると思います。そして、幅広い世代の方が、マップを持って町内のあちこちで楽しむ姿を見ることができるようになれば、今後、柴田町のフットパスが何十年先も何世代にもわたって引き継がれていくのではないかと思います、期待しています。

第3区行政区長

渡邊 福男さん



「船岡二つの時代を巡る道コース」と「館山スカイラインコース」の途中にある個人のお宅の中庭を休憩所として、10名でおもてなしを行いました。お茶やお菓子、漬物を提供したり、地域の情報を伝えたり、私たちにとって、初めての経験でしたが、楽しくできました。

参加者の皆さんからも、お茶やお菓子などのおもてなしを喜んでいただきましたが、特に休憩所となった中庭や手入れされた植木、また、蔵や用水路のある町並みにとても感激されていたようでした。

私たちも、今回のおもてなしを通して、住んでいる地域の歴史や文化に改めて触れ、素晴らしいさを再認識することができました。この町並みを活かして町おこしのイベントなどもできればなどと考えるようになります。とても充実した1日を過ごすことができました。

由利本荘フットパス協会

会長 三浦 敏男さん



大会お疲れさまでした。20名で参加させてもらったけど、フットパスは大層よかった。

私は船迫宿コースに参加して、期待していた宿場町の名残があんまり無くてちょっとガクツときたけど、でも良かった。他の参加者も楽しかったって。特に入間田に参加した人は文句なしに良かったって言ってた。

夜のフットパスは軽食って話だったので、その前の交流会の方で餅もなんもいっぱい食べて行ったらば、なんと立派なごちそうが出てきて、「食べ過ぎて失敗した」って大反省会だった。そこで熊本の美里の人や、次回開催地の兵庫の但馬の人と一緒にいたので、良い交流ができて大層楽しかった。

由利本荘からの一同満足しました。それと、やっぱり花見に来ないといけない、春に一目千本桜見に来ねばね、って話になりました。また来るからまずよろしく。





江戸時代に建てられた麴やの蔵



館山山頂より望む船岡の町並み



お菓子や漬物、ゆず湯を振る舞う第3区行政区の皆さん



白鳥神社の参道



全国の参加者が親睦を深めた交流会



WaWの会長(一番左)と理事の方々

## 1日目 11月3日(土)

午前は、船岡地区の「2つの時代を巡る道コース」と「館山スカイラインコース」に分かれてフットパスが行われました。

午後は、仙台大学を会場に、「フットパスフォーラム」が開催され、フットパスの本場であるイギリスのWaW(ウォーカーズ・アー・ウェルカム)ネットワーク会長のサム・フィリップス氏や理事のランダル・メッツガー氏とクリス・プレスコット氏をコメンテーターに、『「歩くこと」は国境を超える一英・日での展開と連携』と題したパネルディスカッションや秋田県由利本荘市や山形県長井市、登米市、名取市、柴田町の事例発表が行われました。

その後、フットパス交流会が開かれ、参加者の皆さんが、フットパスについて熱く語り合い、交流を深めていました。



山崎山公園から館山へ続く林道



妙法山 蓮華寺の正門



妙高山 大光寺の境内





台丘陵の小道

**2日目 11月4日(日)**

船岡地区の「花と河の道コース」、船迫地区の「船迫宿コース」、槻木地区の「縄文の海コース」、「ゆずの里山入間田コース」、「富上里山コース」の町内3地区、5つのコースに分かれてフットパスが行われ、それぞれに特色のあるコースを参加者の皆さんは楽しんでいました。



愛宕山を望む入間田堀ノ内地区



鹿島神社の鳥居



特産の柚子が実る雨乞地区



山神社の延命杉



釜蛇神社の参道



稻荷山用水蓋かけの道



第17B区行政区の皆さんによるいも煮のおもてなし



# 職員の給与と定員管理について 公表します

「柴田町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、町職員の給与および職員数などについてお知らせします。

職員の給与については、国の人事院勧告や県人事委員会勧告を参考に、町議会の審議を経て、条例などにより定めることになっています。

## ①人件費の状況（平成29年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 平成30.3.31現在	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成28年度の人件費率
37,891人	125億2,997万円	1億2,658万円	22億5,222万円	18.0%	18.1%

(注) 人件費とは、一般職、特別職に支給される給与、共済負担金、退職手当負担金、災害補償費などをいいます。

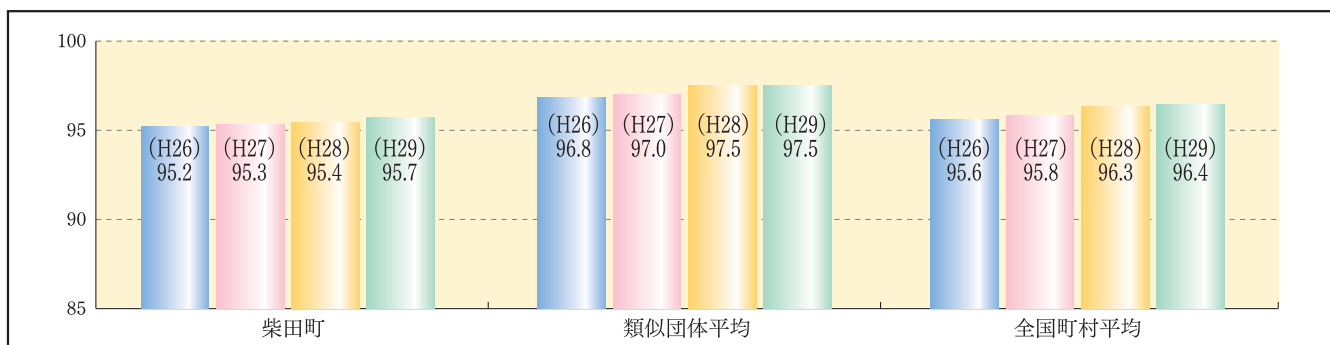
## ②職員給与費の状況（平成29年度普通会計決算）

職員数 A	給 与 費				1人当たり給与費 B/A
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
276人	9億7,306万円	1億1,881万円	3億6,689万円	14億5,876万円	529万円

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。

2 職員数は、平成29年4月1日現在の人数です。

## ③ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

## ④職員の平均年齢、平均給料月額状況（平成30年4月1日現在）

区 分	一般行政職		技能労務職	
	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額
柴田町	43.9歳	307,533円	55.7歳	274,482円
宮城県	42.2歳	320,093円	51.9歳	312,660円
国	43.5歳	329,845円	50.7歳	286,817円

## ⑤期末・勤勉手当の状況（平成29年度支給割合）

区 分	支給割合
期末手当	2.60月分
勤勉手当	1.80月分

(注) 職制上の段階、職務の級などによる加算措置があります。

## ⑥職員の初任給の状況（平成30年4月1日現在）

区 分	一般行政職		技能労務職	
	大卒程度	高卒程度	高卒程度	中卒程度
柴田町	179,200円	147,100円	144,500円	128,900円
宮城県	187,100円	152,600円	150,300円	133,600円
国	179,200円	147,100円		



⑦退職手当の状況（平成30年4月1日現在）

区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額	1人当たり平均支給額
自己都合	19.6695月分	28.0395月分	39.7575月分	47.709月分	1,525万円
勸奨・定年	24.586875月分	33.27075月分	47.709月分	47.709月分	

（注）退職手当の1人当たり平均支給額は、平成29年度に退職した職員に支給された平均額です。

⑧特別職の報酬などの状況（平成30年4月1日現在）

区分	給料		報酬		
	町長	副町長	議長	副議長	議員
報酬などの月額	904,000円	700,000円	387,000円	329,000円	313,000円
期末手当	2.95月分（平成29年度支給割合）				

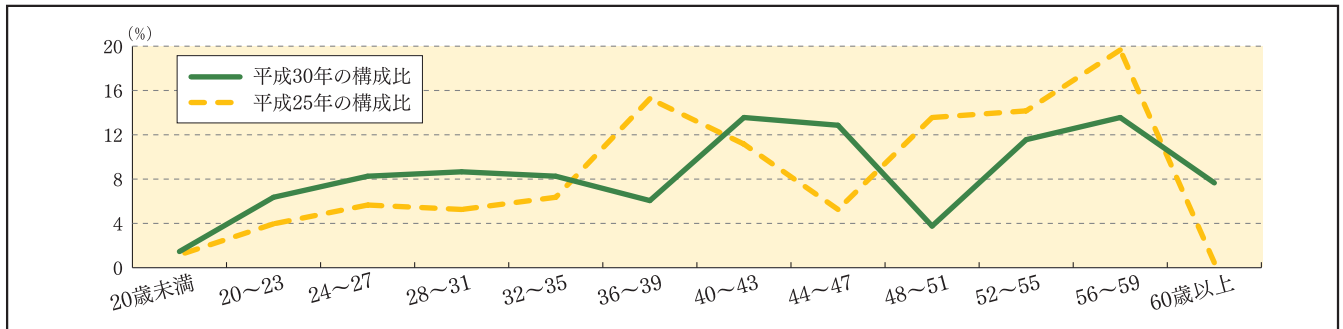
⑨部門別職員数の増減状況（各年4月1日現在）

区分	部門	一般行政								
		議会	総務	税務	農林水産	商工	土木	民生	衛生	小計
職員数	平成30年	4	66	15	11	6	22	90	20	234
	平成29年	4	58	16	11	6	23	91	20	229
	対前年増減数		8	△1			△1	△1		5

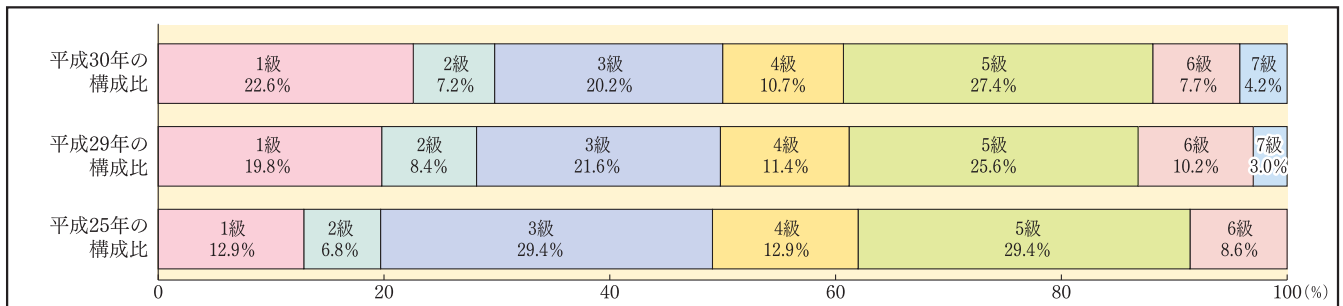
区分	部門	特別行政	公営企業等会計				総合計
		教育	水道	下水道	その他	小計	
職員数	平成30年	48	5	5	15	25	307
	平成29年	47	5	5	15	25	301
	対前年増減数	1					6

（注）職員数は、一般職に属する職員数です（自治法派遣職員を除きます）。

⑩年齢別職員構成の状況（各年4月1日現在）



⑪一般行政職の級別職員数などの状況（各年4月1日現在）



（注）教育長を除き、自治法派遣職員を含みます。

問 総務課秘書職員班 ☎55-2111 ✉ general-affairs@town.shibata.miyagi.jp

※町職員の給与や勤務条件・職員数などの詳しい内容および人事行政の運営などの状況については、町ホームページでご覧になれます。



151

柴田町長 滝口 茂

論争でした。

まず一つ目ですが、経済的な理由で学ぶことが難しい子どもたちを援助するために就学援助制度というしくみがあります。学用品費や学校給食費、修学旅行費などを援助しています。さらに、卒業アルバムや部活のスポーツ用品までを援助対象に加えるべきだという意見です。気持ちばかりですが、行政としてどこまで平等にすべきなのか、線引きが難しいことや、援助対象を拡大しても、抜本的な子どもの貧困問題の解決にはつながらないとの意見もあり、今後の検討課題としました。

二つ目は、学校給食センターの老朽化問題でした。学校給食センターは、建設から38年が経ち、確かに内外装が老朽化してきたことは否めませんが、躯体（建物の構造）はまだしっかりしています。ところが、一部の保護者の方から、「老朽化した施設での給食の調理は不衛生であり、不安でもあるので、早急に新築すべきだ」との

あつという間に、今年も年末を迎えることになりました。

さて、今年一年を振り返った中で印象に残ったのが、子どもたちに関わる

意見が出されました。町として、学校給食センターは、新築することになっていますが、何せ建築費に17億円の費用がかかりますので、ある程度の頭金（貯金）が貯まるまで、施設のリフォーム（長寿命化）で対応することになっています。

三つ目は、今年の酷暑を踏まえた、小中学校の普通教室へのエアコン設置です。「エアコンがない教室で熱中症になったら、誰が責任を負うのか」、「職員室にエアコンがあるのに、教室にないのはおかしい」という意見があります。一方で、「暑さに負けない子どもたちを育てるべきだ」との意見も強くありました。

## 今年一年を振り返って

この三つの案件に共通していることは、「誰がその費用を負担するのか」という点です。「子どもたちのことが心配なので、自分たち保護者なども少し負担するから、早く対応してほしい」というのなら分かります。私も子どもたちのためなら、何でも最優先にしてあげたいのはやまやまです。一方で、町民の皆さんから預かっている税金には限りがあり、すぐに対応することができず、いつも焦燥感に駆られています。

まずは、この年末年始、子どもたちの教育環境の改善に向けて、なんとか財源を確保する戦略を練り直したいと思っています。

## 芸術空間

Shibata Art Gallery

No. 1

# 『冬の掟』

（油絵）

山家利治



冬の寒さは、人間だけではなく野性の生きものにとっても辛く厳しい環境です。静かな雪景色の中、生を真当する狐の姿を通して、人間の営みとは違う潔い自然の世界を表現した作品です。（文 山家利治）



山家 利治（やんべ としじ）1956年蔵王町生まれ。船岡字西住町在住。

- 第15回青木繁記念大賞公募 石橋美術館賞 ●河北美術展 文部大臣奨励賞、東北電力賞、他4回入賞
  - 二紀展 準会員優賞、奨励賞、第一回春季二紀展優賞 ●ふるさとの風景展 準大賞、奨励賞4回 ●他賞多数
- （現在）河北美術展招待作家、二紀会会員、県芸術協会絵画部委員





# 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ52

岡健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第52回のテーマは「適度な飲酒量について～お酒との上手な付き合い方～」です。

国では、日本人の体質から適度な飲酒量を「純アルコール量換算で1日平均20g程度」としています。 ※高齢者・お酒に弱い人はさらに少量となります。季節柄、飲酒の機会が増えるこの時期、適切な飲酒量とお酒との上手な付き合い方を確認しましょう。

$$\text{純アルコール量(g)} = \text{飲酒量(ml)} \times \text{純アルコール度数(\%)} \times \text{アルコールの比重0.8}$$

## ○純アルコール量換算で20g程度を含む量

お酒の種類 (純アルコール度数)	ビール (5%) 	日本酒 (15%) 	ウイスキー・ブランデー (40%) 	焼酎 (25%) 	ワイン (12%) 
量	ロング缶1本 (500ml)	1合 (180ml)	ダブル1杯 (60ml)	グラス1杯 (100ml)	ワイングラス2杯 (200ml)

## ○お酒との付き合い方チェック

チェック項目	注 意 点	改善ポイント
<input type="checkbox"/> 毎日の楽しみに飲んでいる。 <input type="checkbox"/> 仕事終わりにご褒美に飲む。	飲酒量が増えて肝機能や尿酸値、血圧に影響がでます。	<input type="checkbox"/> 食事の後は飲まないようにしましょう。 <input type="checkbox"/> 週2日は休肝日にしましょう。
<input type="checkbox"/> ストレス解消に飲んでいる。 <input type="checkbox"/> 深酒してしまう。	量や頻度が増えやすくなります。睡眠の質が下がり、疲れやすくなります。 	<input type="checkbox"/> 趣味や運動などのストレス解消法を見つけましょう。 <input type="checkbox"/> 深酒してしまったら、翌日は休肝日にしましょう。 
<input type="checkbox"/> 食事を食べずに飲む。	肝臓に負担がかかります。	<input type="checkbox"/> 食事・会話をしながら、ゆっくり飲みましょう。 <input type="checkbox"/> 水と交互に飲みましょう。 
<input type="checkbox"/> おつまみが好き。	塩分の多いおつまみは、高血圧や生活習慣病の要因になります。 	<input type="checkbox"/> 夕食以外に、おつまみを準備しないようにしましょう。 <input type="checkbox"/> 野菜をたっぷり食べましょう。 <input type="checkbox"/> 塩やしょうゆをかけないようにしましょう。 

## 保健師からのワンポイントアドバイス

多量飲酒（1日平均純アルコール量60gを超える量（ビールロング缶3本分））は、臓器障害や生活習慣病、がん、急性アルコール中毒、認知症、うつ病、睡眠障害、アルコール依存症などの健康被害を引き起こします。適量を知り、上手にお酒と付き合いましょう。

# まちかど NEWS



期間中、約7,000人の来場者が訪れました。



色とりどりのライトが菊の美しさをより一層引き立てます。

## 鮮やかに咲き誇る

NEWS

### 「みやぎ大菊花展柴田大会」

10月20日(土)から11月13日(火)まで船岡城址公園でみやぎ大菊花展柴田大会が開催されました。

大菊盆養(大菊三本仕立て)や千輪咲作り、菊花五重塔、大河ドラマのシーンを模した菊人形など、県内の観賞菊愛好者が丹精して育てた約2,400鉢の菊が会場を埋め尽くし、大勢の来場者を魅了しました。また、今年から始まったライトアップでは、昼間とは違う幻想的な菊が来場者を楽しませてくれました。

## 交通死亡事故ゼロ1000日達成で褒状受賞

ほうじょう NEWS

町は、町内での交通死亡事故ゼロ1000日を11月15日(木)で達成し、16日(金)に宮城県警察本部長から、褒状が贈られました。交通指導隊、交通安全協会など交通安全に尽力されている関係団体の方々が出席し、行われた伝達式で、滝口町長は、「関係団体の皆さんの協力のおかげで達成できた記録です。さらに記録を伸ばしていけるよう、力を合わせて交通安全を意識した取り組みを行っていききたい」と決意を述べました。



柴田町で1000日達成は初となります。

広 告

広 告



## 子どもが主役

### 「柴田町子どもフェスティバル」



会場の中や外で子どもたちは、元気いっぱい遊んでいました。

10月28日(日)、「第8回柴田町子どもフェスティバル」が農村環境改善センターで開催されました。昔遊びやミニSLなどの楽しいブースがたくさんあり、特に町内6地区の子ども会がそれぞれ考えた遊びの出店には、行列ができ、大人気でした。遊びの出店を担当した家村美悠さん(船岡小6年)は、「夏休みの時から準備をしていたので、来てくれたみんなに笑顔でありがとうと言ってもらえて良かったです」と嬉しそうに話をしてくれました。

## 米作りで食べ物大切さを学ぶ



今年は天候にも恵まれ豊作となりました。

5月に田植えを行った槻木小学校の学習田で、11月1日(木)、5年生による稲刈りが行われました。地域の方や、JAみやぎ仙南の協力を受け、たわわに実った稲穂を鎌で刈り取りました。森彩葉さんは、「田植えから、いろいろな人の思いが込められて大きく成長したと感じました。収穫したお米を食べるのがとても楽しみです」と話していました。今後は、保護者を交えての試食や、刈り取った藁を使ったほうき作りなどを予定しているそうです。

## トッパスリートの経験を伝える講演会



「自分の人生を楽しんでください」とエールを送られました。

11月12日(月)、船岡中学校で、元サッカー日本代表の平山相太さん(仙台大学1年)による講演会が開催されました。「七転び八起き」と題した講演では、日本代表になるという夢をかなえた経験から、自分を好きになって自信を持ち、夢を諦めないことが大切であると話されていました。生徒を代表して高橋優太さん(2年)は、「今日の話の中にあつた、自分の人生は自分のものという言葉胸に刻んで、最後まで夢を諦めずに努力します」と感想を述べていました。

広 告

広 告



喰喧は、食と農業、音楽で温かく語り合ってもらおうとの想いを込めた造語です。

## 初開催「喰喧(シヨッケン) 'ROLL2018」

NEWS

11月11日(日)、船岡城址公園で、「食」、「農業」、「音楽」が一堂に会する柴田町の新しいイベント「喰喧(シヨッケン) 'ROLL2018」が開催されました。

当日は、音楽を聴きながら、グルメを楽しむ来場者で、会場は大いに盛り上がりました。大河原町から来ていた高橋豊さんは、「こころしたイベントは幅広い年代が楽しめ、町が盛り上がるきっかけになると思います」と話してくれました。

## 町の産業に触れる

### 「しばた産業フェスティバル」

NEWS



農商工ふれあい市などの出店もあり、会場は賑わいを見せていました。

10月21日(日)、船岡小学校で「第10回しばた産業フェスティバル」が行われました。町内の各企業の製品紹介や展示、全日本製造業コマ大戦の開催など、来場者は、普段知る機会の少ない町の産業を、楽しく学んでいました。

家族4人で訪れていた舟山美咲さん(船岡小4年)は、「マグロの解体ショーがすごかったです。いつも食べているものより、新鮮でおいしいです」と笑顔で話してくれました。



今回の調査をもとに外国人に受け入れられる観光プランを作成していきます。

## 外国人モニター調査

NEWS

11月3日(土)、柴田町のさらなるインバウンド需要の創出のための和文文化体験コンテンツを検証する、外国人モニター調査が行われました。

カナダとアルジェリア出身の外国人3名に、着物を着て、茶道体験やみやぎ大菊花展柴田大会の観賞、船岡城址公園の散策をしていただき、また、しばたの郷土館で町の歴史を学んでいただきました。

「どれも日本の伝統文化を感じることができ、アメージングな体験でした」と柴田町の観光資源は、大好評のようでした。

広 告

広 告



## 西住地区の手作りの文化祭



地域の皆さんが親睦を深める2日間となりました。

西住公民館で11月10日(土)、11日(日)に、「西住地区文化祭」が開催されました。書道や籐細工、衣服のリメイク品、西住小の児童の工作などの展示、バザーや演芸発表などが行われ、地域の皆さんのたくさんの笑顔を見ることができました。

餅つき体験をした本田莉衣奈さん(西住小2年)は、「初めて餅つきをしました。楽しかったので、またやってみたいです」と話し、お餅をおいしそうに食べていました。

## 災害に備え協力関係を築きます

NEWS

11月10日(土)、陸上自衛隊東北方面隊が主催し、関係機関などが参加する大規模災害訓練「みちのくALERT2018」の一環で、第2区自主防災会と陸上自衛隊船岡駐屯地による防災訓練が開催され、避難輸送訓練や災害派遣講話などが行われました。

第312ダンプ車両中隊の大場正崇まさたか小隊長は、「避難輸送などを実際に経験することで、防災への意識も高まると思います。今後も合同訓練を行い、地域とのつながりを大切にしていきます」と話していました。



自主防災組織と陸上自衛隊船岡駐屯地による防災訓練は、町内で初開催ということです。



多くの人々が触れ合い、交流するまつりとなりました。

## 福祉まつり2018

NEWS

10月28日(日)、今回で21回目となる「福祉まつり」が柴田町地域福祉センターで開催されました。福祉施設利用者の作品展示と販売、チャリティーバザー、ハロウィンパレードなど様々なイベントが行われました。

ダンスを披露したAZ9ジュニアアクターズの一條結実ゆみさん(白石市・6年)は、「みんなで心を合わせて踊ることができ、皆さんに喜んでもらえて嬉しかったです」と元気に話してくれました。

広 告

広 告

こうほう 文芸

俳句

廃校を見守るさきに秋桜 下名生 笠松ふみ子  
 陽をあびて朝露ひかる畑の草 船岡 可沼 妙子  
 飲む打つの不良老人 蝨 葦神 葛  
 寒さ増す季節の変わりめ山に訪う 船岡 安藤 節子  
 神社出で十一月の蛇に遭う 西船迫 安ヶ平奈津枝  
 夕暮れや帯のかたさも身に沁みて 中野西範子  
 石路咲いて母を恋ふ日となりけり 石垣テル子  
 ははの口調真似て笑つて星飛べり 制野 千秋  
 山はいま夕日のとばり雁渡る 遊佐 徹  
 猫抱いておれば死なずに三島の忌 山家美智子  
 柚子風呂で疲れを癒し五七五 三塚 直樹  
 立冬に肩たたかれて畑に出る 及川美沙子  
 白波の吠える海原冬来たる 若月ノリ子  
 大菊のはなびらの数砂時計 大久保和子  
 半身に魑魅が坐り日向ぼこ 浪山 克彦

川柳

長き夜を短か夜として老の家 下名生 笠松ふみ子  
 吉田君ドラフト会議でモテモテね 西船迫 H・G  
 こうべたれ捻りの宝お倉入り 槻木 加藤 マサ  
 愛好会月一合えばしゃべり出す 船岡 阿部美代子  
 妻料理黙って食べる不満足 西船迫 安ヶ平良三  
 月はじめあつという間に月末に 船岡 小林 夢子  
 芋がしら親芋がが芋今主役 槻木 村上 紫寿

短歌

朝靄にテールランプをにじませて 走るトラック音を残して 船岡 可沼 妙子  
 くもり空運動会を楽しんで 皆の心は晴々と 西船迫 下浦 智子  
 ソバ畑真つ赤に燃えて思い出す 母にひかれて歩いた頃を 四日市場 鳥井崎七十老  
 オリパラの予算後付グラ〜で 赤字見え〜民草だのみ 大槻 信吉  
 音楽会で小学の孫ピアノ弾く 見慣れた事も今日は胸打つ 本船迫 森田 眞六  
 女孫作りし「ブローチ」付けて敬老の 鏡の中に薄き紅ひく 船岡 伊藤タイ子  
 えぼし岳家族であおぐ満天の 牙ゆる星影永久に忘れじ 船岡 沢田 順子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで12月12日(水)までご応募ください。 圖 まちづくり政策課 ☎54-2111

**メタセコイアの奇跡!**  
**光り輝け槻木駅 2018**



点灯式: 12月1日(土) 13:00~ 場所: JR槻木駅東口広場  
 期間: 12月1日(土)~平成31年1月13日(日)  
 点灯時間: 16:30~23:00

【点灯式】12月1日(土) 17:30~  
 【場所】柴田町観光物産交流館 さくらの里前

**Shibata Fantasy Illumination 2018**



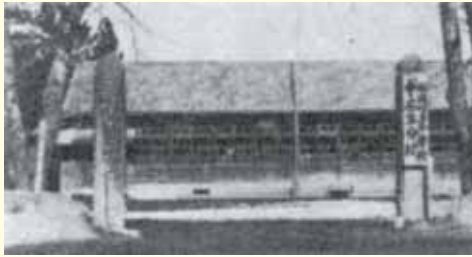
【期間】12月1日(土)~30日(日)  
 【点灯時間】船岡城址公園/16:30~21:00(1日のみ17:30点灯)  
 船岡駅前/17:00~24:00(1日のみ17:30点灯)





# 柴田町の 記憶 をたどって

今年、開校30周年を迎えた東船岡小学校。前身の中名生分校の様子を振り返ります。



昭和25年頃の中名生分校。当時は1年生から3年生まで100人以上が学んでいました。  
(わたしたちの柴田町〔平成2年発行〕より)

昭和55年頃、学習田で稲刈りを行う様子。  
(私たちの町しばた 昨日・今日・明日〔昭和57年発行〕より)



# こども美術館



「カラフルな花」(絵)



東船岡小学校1年

高橋 唯莉 さん



「フランダースの犬」(絵)



東船岡小学校6年

佐藤 結叶 さん

広 告

広 告

広 告

広 告

## 自慢の体力と忍耐力で 日々の仕事に奮闘中

共立化工株式会社 仙台工場

渡邊 健治さん（19歳）

今回は、上名生地区でプリンタートナーに用いるカラーチップの一次加工などを行っている共立化工株式会社仙台工場の渡邊健治さんをご紹介します。



入社して10カ月になる渡邊さんは、共立化工株式会社全体で、一番若い従業員です。

渡邊さんは、主に原材料の計量と、材料をチップ状に砕く加工作業を担当しています。作業は2人1組で行い、先輩から指導を受けながら、日々の業務に励んでいます。

「作業はマニュアル化されていて、ミスなく行うことが求められます。そのマニュアルを覚えて、普通に作業を行えるようになるまでが大変ですね」と話します。

渡邊さんに仕事への思いを伺うと「仕事をしてお金を稼ぐということは、とても大変だと分かりました。アルバイトの経験はありましたが、正職員として働くのは責任の重さが違うと感じています」と話されました。

そんな渡邊さんの仕事に取り組む姿勢について、上司の方は、「初めて就いた仕事なので、今はがむしゃらに仕事をこなしている状況だと思います。右も左も分からない中で仕事をよくこなしているし、何より彼はとても忍耐力があり、それが業務の中で良い方向に

発揮されていますね」と評価されました。

渡邊さん自身も「高校時代にハンドボールで鍛えた体力がある自分には、この仕事に向いていると思います。今は覚えることが多く、先輩方に助けてもらいながら仕事をしていますが、早く安心して仕事を任せてもらえるようになることが今の目標です」と話してくれました。

学生時代はスポーツトレーナーや柔道整復師を目指したこともあり、休日には趣味の釣りやスノーボードなどアウトドアを楽しんでいる根っからのスポーツマン。これからのいろいろな経験を重ねていくと思いますが、鍛えられた体力と忍耐力で頑張ってください。



共立化工株式会社仙台工場  
柴田町大字上名生字明神堂74-1  
TEL.86-5760

昭和41年創業（本社静岡県）。平成25年に仙台工場を開設。プリンタートナーに用いるカラーチップの一次加工などを行っている。従業員6人。

人口と世帯数  
(平成30年11月1日現在)



37,961人  
(前月比19人減)



18,937人  
(前月比9人減)



19,024人  
(前月比10人減)



15,758世帯  
(前月比2世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。